

第 53 回 愛知県河川整備計画流域委員会 現地視察  
汐川流域 議事要旨

実施日：平成 27 年 3 月 25 日（水）

実施河川：汐川

【吉胡貝塚】

○委員

平成 21 年 10 月の高潮について、中流部の市街地で浸水被害があったとのことだが、下流部の農地等で被害はなかったのか。

●事務局

下流部では、被害は特に報告されていない。

○委員

吉胡貝塚について、3 大貝塚とあるが、何に対しての 3 大なのか。

●事務局

調査します。

【汐川 高潮堤防整備箇所】

○委員

高潮堤防は以前にも嵩上げを行ったのか。

●事務局

計画堤防高まで嵩上げをし、その後、平成 21 年の高潮被害を受けて、再度災害防止のため、さらに嵩上げを行った。

【清谷川】

○委員

三河田原駅前の再開発で清谷川左岸側について、開発されているが、右岸側は桜並木なのに対し、左岸側はなにか計画はあるのか？特に、田原駅から市役所までの動線が不十分なので、その方策があるかどうか。

●事務局

田原市に確認します。

○委員

左岸の再開発沿いは、右岸と同じように歩道や桜並木ができるとよい。

●事務局

市の計画を確認した上で、住民の河川利用が促進されるよう、調整していく。

【汐川 ふれあい橋上流】

○委員

現在の川の水深はどのくらいか。

●事務局

50cm程度である。

【宮川改修区間】

○委員

こういった流れのある箇所では小水力発電などが活用出来そうである。

【汐川 坪井橋】

○委員

上流側の整備で、川幅はどの程度広げるのか。法面全体に張りブロック等を施工するのか。水量がそう多くないため、河床幅を広げすぎるのはどうかと思う。

●事務局

川幅は約20m程度に広げる。基本的には張りブロック等は行わず土堤で築堤を行い、水際部は接続ブロックを設置し、植生が繁茂するようにする。河床幅については、流況等を確認し、今後を検討する。

○委員

(流水の様子を見て)水質があまり良くなさそうであるが、これで環境基準を満たしているのか。

●事務局

環境基準で設定されているE類型の基準の基準は満たしている。過去、水質がかなり悪かった経緯があり、そのときと比較するとかなり改善されている。

【その他】

○委員

流域内に養豚場はあるのか。また、養豚場の排水はどうなっているのか。

●事務局

現在も養豚場は複数ある。以前は、未処理のまま排水されていたこともあるとのことだが、現在は市の指導等により適切に処理され排水されていると聞いている。

○委員

資料ごとに、上流部、中流部、下流部の使い分けが統一されていない。

●事務局

整理して統一する。

○委員

人口の変遷のデータは、市町村合併前も流域内の市町村を合算して算出していることを明記した方がよい。

●事務局

グラフ上で合算していることがわかるよう修正する。

○委員

代表的な種の確認状況について、下流部に「ソトオリガイ」が生息しているとのことだが、重要種か。

●事務局

愛知県レッドリストで準絶滅危惧種となっている。

○委員

河川の流況について、豊水流量（95日）等の意味がわからない。

●事務局

一年を通じてカッコ内の数字を下回らない流量を豊水、平水、低水、渇水流量として標記しましたが、わかりやすい表現となるよう修正する。

○委員

河川の整備状況について、高潮堤防の計画堤防高や整備がよくわからない。

●事務局

既計画での高潮堤防高は T.P. 3.5~3.0mですべてが T.P. 3.5mではなく、一部低い区間もあったが、平成21年の高潮被害を受けて、現在では高潮被害のあった箇所すべて T.P. 3.5mで整備を行っている。わかりやすくなるよう表現を修正する。

○委員

資料 1P8 の汐川改修図について、出典を記述すること。また、新旧汐川の状況がわかるようにもっと鮮明なものにしてもらいたい。

●事務局

出典を調査し、対応します。

○委員

土地利用（P.7）のH21のギャップは、データの取りまとめ方法の変更ではなく、メッシュデータの〇〇の変更と記述するとよい。

●事務局

修正します。